

＜平成29年度 学術研究業績一覧＞

【スポーツ科学部スポーツ科学科】

(平成29年4月1日～平成30年3月31日発表分)

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社(発行所・発刊者等) 主催(学会・審議会名等)	発刊年月 発表年月	掲載誌等	その他・備考等
遠藤 俊郎	学術論文	共著	「コンビネーション攻撃、2段トスからの攻撃に対する一流男子チームの守備隊形」	日本バレーボール学会	平成29年 6月	バレーボール研究第19巻1号8頁～19頁	共著者：吉田康成(四天王寺大学)、西博史(至誠館大学)、福田隆(愛媛大学)
	学術論文	共著	「大学スポーツ選手の失敗に対する学習可能性と笑いの関係」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号43頁～48頁	共同研究者：安田貢、三井勇、池田志織(山梨学院大学)
	学術論文	共著	「心理的側面からみたチーム力の一考察：大学ボールゲームチームを対象として」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号49頁～58頁	共同研究者：池田志織、森岡裕策(日本スポーツ振興センター)、寺本祐治、三井勇、安田貢(山梨学院大学)
	評論・解説	共著	「再考！今なにゆえスポーツなのか」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	共著者：上田誠仁(山梨学院大学)、飯島理彰(山梨学院大学)、大崎悟史(山梨学院大学)
	口頭発表	共同	「2016年度全日本中学校長身者合宿参加バレーボール選手の心理的特性に関する研究② TSMI(競技意欲検査)に着目して」	日本体育学会	平成29年 9月	日本体育学会第68回大会予稿集	共同研究者：飯塚駿(千葉県立市川高等学校)、池田志織(山梨学院大学)、田中博史(大東文化大学)
	口頭発表	共同	「2016年度全日本中学校長身者合宿参加バレーボール選手の心理的特性に関する研究①—競技経験年数とMPI、SCATIに着目して—」	日本体育学会	平成29年 9月	日本体育学会第68回大会予稿集	共同研究者：池田志織、安田貢、三井勇(山梨学院大学)、田中博史、横矢勇一(大東文化大学)、飯塚駿(千葉県立市川高等学校)
	口頭発表	共同	「教示情報が最大下の持久性運動パフォーマンスに及ぼす影響」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回日本コーチング学会大会兼第11回日本体育学会体育方法専門領域研究会	共同研究者：土橋祥平(山梨大学大学院)、上田誠仁、池田志織、飯島理彰、大崎悟史(山梨学院大学)、小山勝弘(山梨大学)
	著書	共同	「中高生のためのおメンタルトレーニング：100%の力を出し切る技術」	ティアンドエイチ株式会社	平成29年11月	—	共同制作者：遠藤俊郎、安田貢(山梨学院大学)
	他：実践研究等	共同	「2017第2回女子U23バレーボールアジア選手権大会」	バレーボールアジア選手権大会事務局	平成29年 5月	バレーボールアジア選手権大会	チームマネージャー(団長)として参加、選手サポートを介しての実践研究活動(結果優勝)
	他：実践研究等	共同	「2017女子U20(ジュニア)バレーボール世界選手権大会」	バレーボール世界選手権大会事務局	平成29年 7月	バレーボール世界選手権大会	チームマネージャー(団長)として参加、選手サポートを介しての実践研究活動(結果は世界3位)
他：実践研究等	共同	「2017第3回女子U23バレーボール世界選手権大会」	バレーボール世界選手権大会事務局	平成29年 9月	バレーボール世界選手権大会	チームマネージャー(団長)として参加、選手サポートを介しての実践研究活動(結果は世界9位)	
上田 誠仁	口頭発表	共著	鼻腔制限による高強度トレーニングは呼吸筋を鍛える	第30回ランニング学会	平成30年 3月	—	—
三本木 温	学術論文	共著	「スポーツ基礎演習における実践報告：望ましいカリキュラムの検討」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1巻	共著者：東山昌央、麻場一徳、片田貴士、山部伸敏、飯島理彰、吉田浩二、清水正(7名：山梨学院大学)
谷口裕美子	学術論文	共著	「夏季集中実習 野外活動：キャンプの実践報告」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号	共著者：東山昌央
	講演	単独	「東京都障害者スポーツ選手育成事業育成プログラム」	公益財団法人東京都障害者スポーツ協会	平成29年 9月	—	—
	講演	単独	「やまなしパラリンピック観光フォーラム2017 パネルディスカッション 2020年に向けて～魅力ある観光地域づくりとは」	山梨県観光部観光資源課	平成29年11月	—	—
	講演	単独	「東京都パラリンピック選手発掘プログラム—フォローアッププログラム」	公益財団法人東京都障害者スポーツ協会	平成29年11月	—	—
	講演	単独	「東京都障害者スポーツ選手育成事業育成プログラム」	公益財団法人東京都障害者スポーツ協会	平成29年12月	—	—
出演	単独	「YGUラジオセミナー」	山梨放送ラジオ作成部	平成30年 1月	—	—	
塚田 雄二	口頭発表	共同	「鬼ごっこを題材としたフィジカルトレーニングの有用性について～大学サッカー選手を事例に～」	フットボール学会	平成29年12月	第15回フットボール大会	共同発表者：大崎恵介(山梨学院大学講師)
	口頭発表	共同	「鬼ごっこにおける”しっぽ”の役割」	発育発達学会	平成30年 3月	第16回発育発達学会	共同発表者：大崎恵介(山梨学院大学講師)、石川勝彦(山梨学院大学講師)
	口頭発表	共同	「小学生におけるスポーツ鬼ごっこプレー時の運動学的特性」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回日本コーチング学会	共同発表者：大崎恵介(山梨学院大学講師)、石川勝彦(山梨学院大学講師)
森 幸也	学術論文	単著	「生物進化論と地球温暖化説、論争としての類似構造」	山梨学院生涯学習センター	平成30年 3月	大学改革と生涯学習第22号	—
	口頭発表	単独	「バロック音楽と近代科学の成立期における両分野の照応」	日本科学史学会	平成29年10月	日本科学史学会生物学史分科会・生物学史研究会	—
	口頭発表	単独	「生物進化論と地球温暖化説、両論争への固定的自然観の影響」	山梨学院生涯学習センター	平成30年 3月	山梨学院学術報告会2017	—
太田 涼	学術論文	単著	「女子競技者の100mレース分析結果を用いた4×100mリレーのバトンパス完了地点、リレータイムおよびバトンパス所要時間の推定に関する研究」	日本スプリント学会	平成29年 5月	スプリント研究第26号11頁～22頁	—
	学術論文	単著	「国民体育大会における陸上競技女子4×100mリレーのバトンパスの短期間のコーチング実践の分析：客観的データの活用とコーチングコンセプトの有用性」	日本スポーツパフォーマンス学会	平成30年 1月	スポーツパフォーマンス研究第10号1頁～14頁	—
	学術論文	共著	「陸上競技女子4×100mリレーのバトンパスに関する研究：高校生から一流競技者を対象に」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1巻1頁～14頁	麻場一徳(山梨学院大学教授)
笠野 英弘	学術論文	単著	「スポーツ観戦マイスター制度」	日本スポーツ産業学会	平成29年10月	スポーツ産業学研究第27巻第4号355頁～358頁	査読付き論文 第26回大会企画コンペ：日本スポーツ産業学会会長賞受賞
	学術論文	単著	「ドイツのサッカーを事例としたスポーツ組織と行為者の社会的性格との構造的関係」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号19頁～32頁	査読付き論文
	学術論文	単著	「主体的なスポーツ組織論の理論構成とその意義 — 行為者の主体性との関連から — 」	日本スポーツ社会学会	平成30年 3月	スポーツ社会学研究第26巻第1号43頁～58頁	査読付き論文
	口頭発表	単独	「スポーツ観戦マイスター制度」	日本スポーツ産業学会	平成29年 7月	第26回大会	上記同名称の学術論文の基礎となった学会発表
中垣 浩平	学術論文	単著	「アスリートに対する運動前のL-Citrullineの摂取がトレーニング後の疲労感に及ぼす影響」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	山梨学院大学スポーツ科学研究第1巻61頁～66頁	査読付き論文
	口頭発表	単独	「トレーニングに対する身体適応とそれを捉える視点」	山梨体育スポーツ科学会	平成29年 6月	第2回大会SSC一般発表	—
	口頭発表	共同	「準高地環境における陸上長距離選手のトレーニング効果」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回日本コーチング学会大会	共同発表者：上田誠仁、飯島理彰、大崎悟史(山梨学院大学)
	口頭発表	共同	「教示情報が最大下の持久性運動パフォーマンスに及ぼす影響」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回日本コーチング学会大会	共同発表者：遠藤俊郎(山梨学院大学・山梨大学大学院)、土橋祥平(山梨大学大学院)、上田誠仁、池田志織、飯島理彰、大崎悟史(山梨学院大学)、小山勝弘(山梨大学)
	評論・解説	共著	「ピークは100%大会当日だ！ トレーニングが激変する、フィットネス・ファティグ理論とは？」	株式会社マガジンハウス	平成30年 2月	Tarzan、No735、102頁～109頁	共著者：長谷川裕(龍谷大学)
	評論・解説	共著	「鼻腔制限による高強度トレーニングは呼吸筋を鍛える」	ランニング学会	平成30年 3月	第30回ランニング学会	山本正彦(東京工科大学)、山地啓司(立正大学)、高山史徳(筑波大学)、上田誠仁(山梨学院大学)、坂本静男(早稲田大学)

〈平成29年度 学術研究業績一覧〉

【スポーツ科学部スポーツ科学科（続き）】

（平成29年4月1日～平成30年3月31日発表分）

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社(発行所・発刊者等) 主催(学会・審議会名等)	発刊年月 発表年月	掲載誌等	その他・備考等
三井 勇	学術論文	共著	「スポーツ科学系大学における保健体育科教員養成の課題」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号	査読付き論文 共著者：下村義夫（山梨学院大学教授） 高橋 岳（株式会社エー・トゥー・ゼット学校教育ALIT事業部）
	学術論文	共著	「大学スポーツ選手の失敗に対する学習可能性と笑いの関係」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号	査読付き論文 共著者：安田 貢（山梨学院大学准教授）、遠藤俊郎（山梨学院大学教授）、 池田志織（山梨学院大学助手）
	学術論文	共著	「心理的側面からみたチーム力の一考察：大学ボールゲームチームを対象として」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号	査読付き論文 共著者：遠藤俊郎（山梨学院大学教授）、池田志織（山梨学院大学助手）、 安田 貢（山梨学院大学准教授）、寺本裕治（山梨学院大学教授）、 森岡裕策（日本スポーツ振興センター）
	評論・解説	共著	「2016年度全日本中学長身者合宿参加バレーボール選手の心理的特性に関する研究① －競技経験年数とMPI、SCATに着目して－」	日本体育学会	平成29年 9月	日本体育学会第68回大会予稿集	共著者：池田志織（山梨学院大学助手）、安田 貢（山梨学院大学准教授）、 藤塚 駿（千葉県立市川高等学校）、横矢勇一（大東文化大学准教授）、 田中博史（大東文化大学教授）、遠藤俊郎（山梨学院大学教授）
安田 貢	著書	共著	「中高生のためのメンタルトレーニング ～100%の力を出し切る技術～」	ティアンドエイチ株式会社	平成29年11月	—	共著者：遠藤俊郎（山梨学院大学教授）
	学術論文	共著	「大学生スポーツ選手の失敗に対する学習可能性が抑うつ症状におよぼす影響」	J-STAGE	平成29年 8月	健康心理学研究第30巻1号	共著者：高根慎吾（常葉大学）
	学術論文	共著	「大学スポーツ選手の失敗に対する学習可能性と笑いの関係」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1号	査読付き論文 共著者：安田 貢（山梨学院大学准教授）、遠藤俊郎（山梨学院大学教授）、 池田志織（山梨学院大学助手）
	他：実践研究等	単独	「東レアローズ男子バレーボール部 心理サポート」	東レ株式会社	平成29年 6月	東レ・アローズ（プレミアリーグ）	競技パフォーマンス発揮に向けた選手サポートを介しての実践研究活動
苅山 靖	著書	共著	「コーチング学への招待（第3章 競技力とトレーニング。第2節 各種スポーツの競技力。1. 測定スポーツにおける競技力。）」	日本コーチング学会・大修館書店	平成29年 4月	—	—
	著書	共著	「コーチング学への招待（第3節 トレーニングの構造。）」	日本コーチング学会・大修館書店	平成29年 4月	—	共著者：関子浩二（筑波大学体育系教授）
	学術論文	共著	「骨盤の挙上運動を強調した片脚スクワットエクササイズの力学的特性」	一般社団法人日本体力医学会	印刷中	体力科学	査読付き論文 共著者：林陵平（岐阜大学助教）、吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）、関子あまね （筑波大学大学院大学院生）、関子浩二（筑波大学大学院大学院生）、 関子浩一（筑波大学体育系助教）
	学術論文	共著	「クリーンエクササイズにおけるキャッチ動作の運動速度が下肢関節キネティクスに及ぼす影響」	日本教育医学会	印刷中	教育医学	査読付き論文 共著者：林陵平（岐阜大学助教）、吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）
	学術論文	共著	「一流走高跳選手のパフォーマンス向上過程における事例研究」	日本コーチング学会	平成30年 3月	コーチング学研究	査読付き論文 共著者：戸邊直人（筑波大学大学院大学院生）、林陵平（岐阜大学助教）、 木越清信（筑波大学体育系助教）、尾藤貴（筑波大学体育系教授）
	学術論文	単著	「水平片脚型・鉛直片脚型・鉛直両脚型リバウンドジャンプの相互関係性とそれに基づく階層構造的トレーニングモデルの提案 質量-ばねモデルの挙動に着目して」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1巻	査読付き論文
	学術論文	共著	「伸張-短縮サイクル運動を伴った体幹捻転エクササイズによるトレーニング効果」	日本トレーニング科学会	平成29年12月	トレーニング科学第29巻	査読付き論文 共著者：吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）、林陵平（岐阜大学助教）、 浅井武（筑波大学体育系助教）、関子浩二（筑波大学体育系教授）
	学術論文	共著	「Differences in take-off leg kinetics between horizontal and vertical single-leg rebound jumps」	Taylor & Francis Online	平成29年 4月	Sports Biomechanics第16巻	査読付き論文 共著者：Hobara Hiroaki（産業技術総合研究所研究員）、 Zushi Koji（筑波大学体育系教授）
	評論・解説	単著	「各種跳能力におけるリバウンドジャンプ能力の位置づけ」	杏林書院	平成29年 4月	体育の科学第67巻	—
	ポスター発表	共著	「水平ハードルジャンプテストを用いた身体の回転動作を引き出すためのコーチング手段」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	共著者：田中勇悟（びわこ成蹊スポーツ大学大学院生）、松井由幸 （びわこ成蹊スポーツ大学大学院生）、藤林献明 （びわこ成蹊スポーツ大学専任講師）
	ポスター発表	共著	「走高跳の競技記録へ影響する踏切準備動作：重心高の変化に着目して」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	共著者：平龍彦（筑波大学大学院大学院生）、戸邊直人（筑波大学大学院大学院生）、 小山宏之（京都教育大学准教授）、木越清信（筑波大学体育系助教）
	ポスター発表	共著	「走高跳のパフォーマンスに影響する動作-踏切準備局面より踏切局面に着目して-」	日本陸上競技学会	平成29年12月	第16回大会	共著者：平龍彦（筑波大学大学院大学院生）、戸邊直人（筑波大学大学院大学院生）、 小山宏之（京都教育大学准教授）、木越清信（筑波大学体育系助教）
	口頭発表	単著	「ジャンプ運動からみた“ばね能力”を前提とするスプリント走動作：競技力に至る階層構造に着目したトレーニング学的研究」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	—
	口頭発表	共著	「下肢伸展運動による力の立ち上がり率からみた筋力・パワー発揮特性」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	共著者：関子浩二（筑波大学大学院大学院生）、関子あまね （筑波大学大学院大学院生）、吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）、 高橋和孝（筑波大学大学院大学院生）、木越清信 （筑波大学体育系助教）、尾藤貴（筑波大学体育系教授）
	口頭発表	共著	「両脚水平跳躍型ハードルジャンプテストを用いた身体の回転動作に関する評価とトレーニング」	京都滋賀体育学会	平成30年 3月	第147回大会	共著者：田中勇悟（びわこ成蹊スポーツ大学大学院生）、 松井由幸（びわこ成蹊スポーツ大学大学院生）、 藤林献明（びわこ成蹊スポーツ大学専任講師）
	口頭発表	共著	「幼児における園内での遊びの内容とリバウンドジャンプ能力との関係」	日本スポーツ教育学会	平成29年10月	第37回大会	共著者：坂口将太（聖和短期大学専任講師）、林陵平（岐阜大学助教）、 吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）、藤林献明 （びわこ成蹊スポーツ大学専任講師）
口頭発表	共著	「下肢伸展運動による力の立ち上がり率からみた筋力・パワー発揮特性」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	同大筑波秀義委員論文 共著者：関子浩二（筑波大学大学院大学院生）、関子あまね （筑波大学大学院大学院生）、吉田拓矢（筑波大学体育系特任助教）、 高橋和孝（筑波大学大学院大学院生）、木越清信（筑波大学体育系助教）	
東山 昌央	著書	共著	「野外教育学研究法」	日本野外教育学会	平成30年 1月	—	星野敏男（明治大学教授）、他27名
	学術論文	共著	「夏季集中実習「野外活動：キャンプ」における実践報告」	山梨学院大学スポーツ科学部	平成30年 3月	スポーツ科学研究第1巻73頁～82頁	査読付き論文
	口頭発表	単独	「登山者の日常のトレーニング内容と、岩場・鎖場における動作感覚の関係について」	日本山岳文化学会	平成29年11月	第15回大会	その他：大会プログラム収録集にその内容を掲載
	ポスター発表	単独	「登山を安全におこなうための移動技能に関する研究：クライミングウォールを活用した事前トレーニングの実践事例」	日本コーチング学会	平成30年 3月	第29回大会	その他：大会プログラム収録集にその内容を掲載

